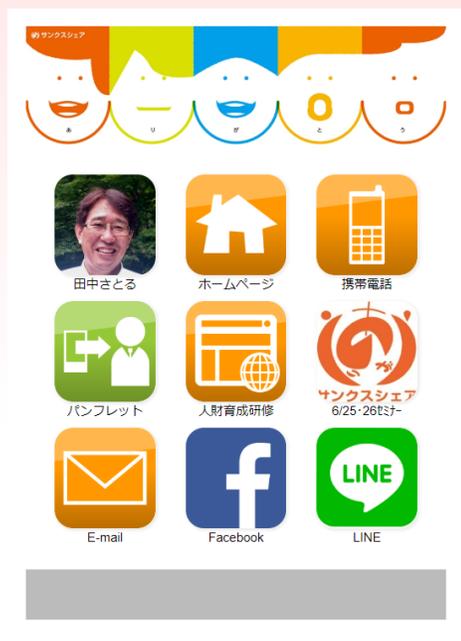


子どもが育つ療育プログラムの展開のコツ

～ 何を育てたいの？（目的）・意図的計画的な体験活動を！（方法）～



R2.9.1

ハピネスキッズスタッフ研修



右のQRコードから上記のページの表示をお願いします。

(一社)スペシャルニーズアシスト協会
代表理事 田中 聡



【活動企画書をつくろう！】

【 1 目的を明確にする】

【何を身に付ける
必要があるのか？】

- ・ 発達的特質の視点
- ・ 個人的特質の視点

「いまの現状は？」

個人の目標と集団の目標

「なにを育てたいか？」

「どんな姿になってほしいか？」

後半の資料参照

目標設定のポイント

【2つの面から特質を把握する】

① 発達的特質の理解

- ・ 身体的発達
- ・ 知的発達
- ・ 社会性の発達
- ・ 自我の発達
- ・ 基本的欲求の発達

② 個人的特質の理解

- ・ 認知的特質
- ・ 性格的特質
- ・ 態度一意欲の特質

活動を企画するポイント

- ① **目的**：どんな成長（思考・感情・行動）を目指すか？
- ② **内容**：
 - ・子どもの興味関心をそそるか？
 - ・実現可能か？
 - ・実行時のリスク管理が想定範囲内か？
- ③ **方法**：
 - ・実施可能な方法か？（必要な支援者人数の確保）
 - ・保護者への説明が十分できる方法か？
 - ・実施の評価を事前に準備できる方法か？
- ④ **評価**：
 - ・できたか、できなかったか、の判定が可能か？
（行事の目的を達成できたか評価できるか？）

(1) ガイドラインの趣旨

(2) 放課後等デイサービスの基本的役割

○ 子どもの最善の利益の保障

「生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与すること」（児童福祉法）学校や家庭とは異なる時間、空間、人、体験等を通じた発達支援→最善の利益の保障と健全な育成

○ 共生社会の実現に向けた後方支援

インクルージョン 集団の中での育ちの保障 一般的な子育て支援策を、専門的な知識・経験に基づく後方支援 地域の障がい児支援の専門機関としてふさわしい事業展開

○ 保護者支援

①子育ての悩み等に対する相談を行うこと ②家庭内での養育等についてペアレント・トレーニング等活用しながら子どもの育ちを支える力をつけられるよう支援すること ③保護者の時間を保障するために、ケアを一時的に代行する支援を行うこと

(3) 放課後等デイサービスの提供に当たっての基本的姿勢と基本活動

① 基本的姿勢

発達過程や特性、適応行動の状況を理解した上で、コミュニケーション面で特に配慮が必要な課題等も理解し、一人ひとりの状態に即した個別支援計画に沿って発達支援を行う。
「他者との信頼関係の形成の体験」「人と関わることへの関心」「コミュニケーションをとることの楽しさ」「葛藤を調整する力」「主張する力」「折り合いをつける力」基本活動には、自己選択や自己決定を促し、それを支援するプロセスを組み込むこと。「保護者・関係機関との連携」

② 基本活動

ア 自立支援と日常生活の充実のための活動

基本的日常生活動作や自立生活を支援するための活動「遊びを通じた成功体験」「自己肯定感を育む」

イ 創作活動

表現する喜びを体験できる。日頃から自然に触れる機会を設け、季節の変化に興味をもつ。「豊かな感性」

ウ 地域交流の機会の提供

子どもの社会経験の幅を広げていく。放課後等に行われている多様学習・体験・交流活動等との連携、ボランティアの受け入れ等により積極的に地域との交流を図っていく。

エ 余暇の提供

子どもが望む遊びや自分自身をリラックスさせる練習等の諸活動を自己選択して取り組む経験を積んでいくために、多彩な活動プログラムを用意し、ゆったりとした雰囲気の中で行えるよう工夫する。

(4) 事業所が適切な放課後等デイサービスを提供するために必要な組織運営管理

① 適切な支援の提供と支援の質の向上

- 運営方針、計画、タイムスケジュール、活動プログラムについて、PDCAサイクルにより不断に支援の質の向上を図る。
- 支援に関わる人材の知識・技術を高める研修の機会確保 + 習得意欲喚起
- 保護者、学校をはじめ、さまざまな関係機関との連携、情報共有→放課後等デイサービスに期待される役割の認識

② 説明責任の履行と透明性の高い事業運営

- 保護者の満足感、安心感を高めるため支援の内容を保護者とともに考える。丁寧な説明。寄り添うための積極的なコミュニケーション。
- 事業所が、地域社会からの信頼を得るため、事業に関する情報発信を積極的に行い地域に開かれた事業運営を心がける。

③ 様々なリスクへの備えと法令遵守

- 健康状態の急変、非常災害、犯罪、感染症に対する訓練やマニュアルの策定
- 虐待の未然防止や個人情報の保護、関係法規の遵守。「子どもの権利擁護」

<p>健康・生活</p>	<p>健康状態の把握 健康の増進 リハビリテーションの実施 基本的な生活スキルの獲得 構造化等により生活環境を整える</p>
<p>運動・感覚</p>	<p>姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用 身体の移動能力の向上 保有する感覚の活用 感覚の補助及び代行手段の活用 感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応</p>
<p>認知・行動</p>	<p>感覚や認知の活用 知覚から行動への認知過程の発達 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成 数量、大小、色等の習得 認知の偏りへの対応 行動障害への予防及び対応</p>
<p>言語・コミュニケーション</p>	<p>言語の形成と活用 受容言語と表出言語の支援 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得 指さし、身振り、サイン等の活用 読み書き能力の向上のための支援 コミュニケーション機器の活用 手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用</p>
<p>人間関係・社会性</p>	<p>アタッチメント（愛着行動）の形成 模倣行動の支援 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援 一人遊びから共同遊びへの支援 自己の理解とコントロールのための支援 集団への参加への支援</p>

① 発達的特質の理解

- 身体的発達
- 知的発達
- **社会性の発達**
- 自我の発達
- 基本的欲求の発達

- コミュニケーション
- 日常生活スキル
- 社会性
- 運動スキル
- 不適応行動

Vineland-II

- 身辺自立
- 移動
- 作業
- コミュニケーション
- 集団参加
- 自己統制

S-M社会生活

活動を企画するポイント

活動をねらいから整理する

時期

ねらい

集団活動
個別活動の種別

4月
～
3月



～ひかりのテーマ・年間行事～

4月～6月
～出会い 自分を知る～

- ・個別相談会
- ・講演会

7月～9月
～友達を知る～

- ・工場見学
- ・ながしそうめん
- ・保護者様と一緒にBBQ

10月～12月
～関係を築く～

- ・ハロウィン
- ・社会見学
- ・クリスマス会
- ・もちつき大会

1月～3月
～新しい出会いに向けて！～

- ・講演会
- ・保護者会
- ・個別相談会

～ 週間行事 ～

施設名	月曜日	火曜日	水曜日
-----	-----	-----	-----

活動を企画するポイント

活動をねらいから整理する

時期

ねらい

集団活動
個別活動の種別

4月

～

3月

2020年 3月 活動予定表

放課後等デイサービスひかり
ひかりねくと/ひかりすてつ

日	活動内容	持ち物	費/担	担当	支援目的	S-M
2月	感覚統合 指先エクササイズ		●		指先の運動	74
3月	火 買い物活動 駄菓子屋ひかり		○		買い物遊び	40
4月	水 感覚統合 ひかり/すてつ/ねくと/目隠しチャレンジ ねくと/リズム		●		—	
5月	木 SST じゃんけんゲーム		●		いろいろな遊び方	63
6月	金 工作 作って遊ぼう				道具の貸し借りができる	47
7月	土 SST 運動 ボールでレクリエーション ハドル・スポーツクラブ			○	ルールを守って遊ぶ	31
8月	日					
9月	SST クイズに挑戦		●		意見を伝えることができる	63
10月	火 SST ゲームdeおやつ		○		順番を守る	31
11月	水 感覚統合 ひかり/リズム / ねくと/体操 すてつ/体力測定		●		—	
12月	木 工作 お部屋を飾ろう		●		道具を正しく使える	41
13月	金 感覚統合 サイレントゲーム				静かにできる・注視する	20
14月	土 感覚統合 運動 リズムゲーム ハドル・スポーツクラブ			○	合図に合わせて遊ぶ	61
15月	日					
16月	工作 4月のカレンダーを作ろう		●		はさみの使い方	48
17月	火 買い物活動 駄菓子屋ひかり		○		買い物遊び	40
18月	水 感覚統合 ひかり/体操 / ねくと/リズム すてつ/アイロンビーズ		●		—	
19月	木 SST チームで遊ぶ		●		協力して楽しむ	78
20月	金					
21月	土 感覚統合 運動 音楽遊び ハドル・スポーツクラブ			○	集団遊び	83
22月	日					
23月	感覚統合 バランスゲーム		●		からだの使い方	41
24月	火 工作 花飾りを作ろう		○		いろいろなどを考える	39
25月	水 訓練 避難訓練		●	○	静かに話が聞ける	37
26月	木 外出活動 体育館で遊ぼう	体育館シューズ	●	○	順番を守る	30
27月	金 買い物活動 ドーナツを買いに行こう	お財布	×		買い物の計画を立てる	94
28月	土 外出活動 ひかり/おつかいミッション ねくと/地域交流会			○	—	
29月	日					
30月	クッキング おやつクッキング	クッキングセット	●	○	簡単な調理ができる	101
31月	火 イベント お楽しみ会		○	○	約束を守って楽しむ	71

クッキングセット エプロン・三角布・マスク・ハンドタオル	お財布 お財布にお金を入れてくる	ハドル・スポーツクラブ 運動しやすい服装・タオル ・多めのお茶(水)
---------------------------------	---------------------	--

※ 弁当: ○ 注文または持参
× クッキングのため不要
※ 都合により予定変更する場合があります。
・算数教室及び脳機能バランスの申込はHUG上の備考欄にてお願いします。

活動を企画するポイント

活動をねらいから整理する

2020年		年間行事		こども発達支援ハウス叶	
	四半期目標	創作活動	心理面談裏プロ・イベント	誕生日	
4月	自己課題 自己を見つめる。自身の ことと向き合う。	●お守りづくり	○心理劇 役を演じるということに なれる		
5月		●スクイーズづくり ～置いて安心、フワフワス クイーズ～			
6月		●立体アートづくり ～自分の世界を箱に表現～			
7月	自己・集団 集団の中に存在する意 識しながら、自身の役 割的意識を芽生えさせ る。	●夏祭り創作	◆叶夏祭り		
8月					
9月		●創作物語りレー ～物語をつなぐ～			
10月		●陶芸器づくり	◆ハロウィンイベント		
11月	集団に対する意志 的な行動の芽生え 集団の中に対する自己 ポジションの確立	●草木染め体験			
12月		●身だしなみミラーづくり ～お気に入りの服で身だしな みを整える～	◆クリスマスイベント ～1年の集大成をみせる～		
1月	自己の統合 「〇〇が出来た」「△ △は出来なかった」な どの両面的な感情の受 容。自己の成長を振り返 る。	●初筆書き体験 ～私・僕の1年はどうする？～			
2月		●革細工キーホルダー ～誰に贈る？～	◆節分イベント		
3月		●香り袋づくり ～かいで落ち着く～	◆叶卒業式		

2020年		年間行事		こども発達支援ハウス叶2番館	
	四半期目標	創作活動	作業学習・イベント	誕生日	
4月	<慣れる時期> ・生活リズムを整える ・不安を軽減	□ソルトペインティング (江口) (情緒の安定)	□サーキット □体幹トレーニング		
5月		□ボトルドーム(山田) (不安癒す)	□サーキット □体幹トレーニング		
6月		□クレイアートクッキーマ グネット(江口) (創造性・巧緻性)	□サーキット □体幹トレーニング		
7月	<体づくり> ・粗大運動で自己の 体の意識作りと、コ ントロールを図る		□サーキット □体幹トレーニング ■音楽療法(リトミック)		
8月			□サーキット □体幹トレーニング ■ボールペン 袋詰め 封筒作り(作業学 習)		
9月		□叶①創作活動への挿絵書 き(江口) ストレス軽減、発信	□サーキット □体幹トレーニング (■音楽療法(リトミック))		
10月	<整える時期> ・実習等が始まり リズムが乱れる予 想、安定できるグッ ズや行事等を通して 変わらない安心を得 る	□空き缶ペイント(松尾) (感覚課題・育成によるリ ズム作り)	□サーキット □体幹トレーニング		
11月		□アドベントカレンダー作 り(安田) (見通しの安 心)	□サーキット □体幹トレーニング		
12月		□門松作り(江口) (1年の締めくくりの意 義を持つことでリズムを作 る)	□サーキット □体幹トレーニング		
1月			□サーキット □体幹トレーニング ■ボールペン 袋詰め 封筒作り (作業学習)		
2月	<来年度へ向けての 意識作り> ・心構え ・自己成長の振り返 り	□つるしびな(安田) (季節の意識)	□サーキット □体幹トレーニング ■節分イベント「豆まき」(山 田)		
3月		□アルバム作り(坂口) (自分の成長を確認する)	□サーキット □体幹トレーニング □お別れ会 3月29日		

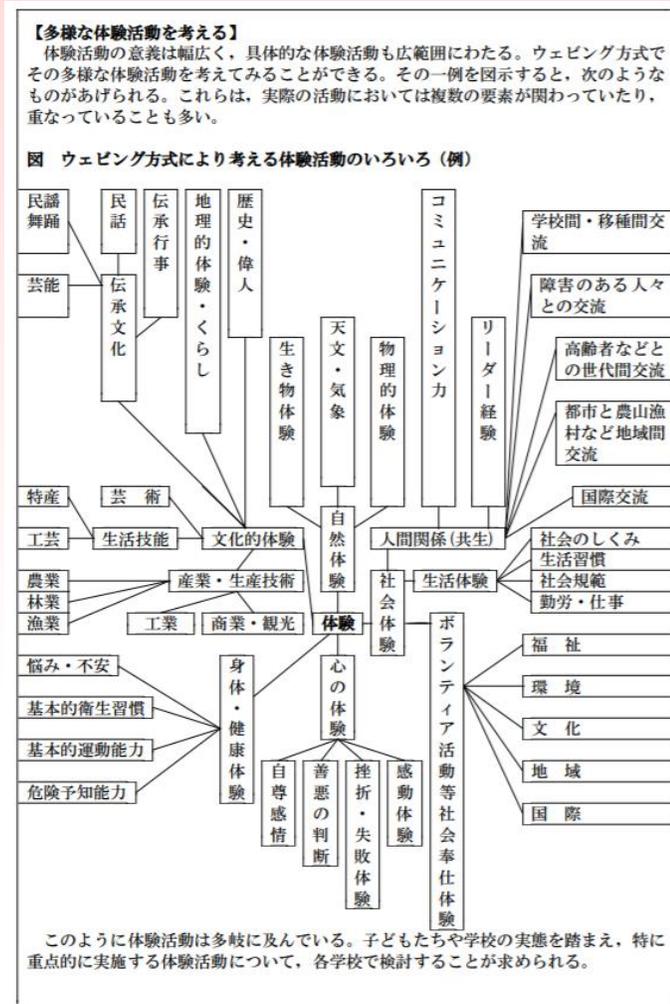
【活動企画書をつくろう！】

【活動企画書を作る際の手順】

- 1 目的を明確にする
 - 2 活動の内容を決める
 - 3 活動の展開方法を考える
 - 4 活動計画を立てる
 - 5 支援の具体的留意点を考える
 - 6 下見及びスタッフ予備体験をする
 - 7 活動計画を練り直す
- ※ 上司に企画提案する（戦略的提案）

【活動企画書をつくろう！】

【 2 体験活動の内容を決める】



- ① ボランティア活動など
社会奉仕に関わる体験活動
- ② 自然に関わる体験活動
- ③ 勤労生産に関わる体験活動
- ④ 職場や就業に関わる体験活動
- ⑤ 文化や芸術に関わる体験活動
- ⑥ 交流に関わる体験活動
- ⑦ その他の体験活動

[文部科学省HP：青少年の健全育成より](#)

【活動企画書をつくろう！】

【3 体験活動の展開方法を考える】



モチベーションって

TEMONA

モチベーションと動機づけ

動機づけの種類



社会的動機付け

外発、内発、達成を包含する

外発的動機づけ

処遇、待遇、金銭、義務

内発的動機づけ

好奇心、感情性、挑戦性、認知性

達成的動機付け

より目標達成をしようとする

生理的動機付け

食べたい、寝たい、排泄したい

【活動企画書をつくろう！】

【3 体験活動の展開方法を考える】

社会的 動機付け

- 遊戯動機**…楽しさや面白さを求める。緊張をやわらげ、冗談やゲームを好む。
- 理解動機**…理論的な考えを求めたり、物事の仕組みを理解しようとする。
- 変化動機**…新しいことを好み、流行に敏感で変革を求める。
- 秩序動機**…安定、秩序、伝統、などを大切にする。整理、整頓、正確さを目指す。
- 達成動機**…努力して高い目標をやり遂げる。才能を生かし自尊心を高める。
- 親和動機**…好きな人の近くにいたい、助け合いたいと思う動機。友情を重視する。
- 屈辱動機**…自分を責め、非難や罰を受け入れたいと思う。敗北を認める。
- 攻撃動機**…言葉や力を使って相手を屈服させたい、反対を克服したいと思う。
- 自律動機**…束縛、強制、横暴な権威、因習を嫌い、自由と独立を求める。
- 支配動機**…人の上に立ちたい、説得や命令によって人に影響を与えたいと思う。
- 服従動機**…優れた人の命令に従い、その人の言う通りにしたいと望む。
- 顕示動機**…目立ちたい、人を驚かせたり、楽しませたりして印象づけたいと思う。
- 援助動機**…弱い者、困っている者などを助け、慰め、励ましたいと思う。
- 依存動機**…甘えたい、助けてもらいたい、愛されたい、同情されたいと思う。
- 異性愛動機**…異性を求め、恋愛関係や性的関係に関心を向ける。
- 屈辱回避動機**…失敗して軽蔑されることを避けたいと思う。自己防衛的な思い。

【活動企画書をつくろう！】【3 体験活動の展開方法を考える】

「面白い」とは？

脳のどこ？を
反応させようと
するのか？



「PRESIDENT」 2019.12.13より

【活動企画書をつくろう！】

【 4 活動計画を立てる】

活動と指導をコラボする絶好の機会！

事前

- ・ 活動当日を迎えるまでの準備（制作や下調べなど）
- ・ できるようになっておいてほしいことのトレーニング
- ・ 場所の確保や準備物の借用、購入予算などの事前準備

事中

- ・ 当日の活動の主な流れ
- ・ 役割分担
- ・ 準備するもの

事後

- ・ 活動後の振り返りをする場の設定
- ・ 活動の成果を発表する場の設定
- ・ 次の活動につながる、発展する方向性をさぐる

望ましい行動を身に付ける5段階戦略

- ① **不適切行動を減らす・なくす 「消去」**
 - ・ 不適切な行動の頻度を下げる（＝強化しない）
- ② **望ましい行動を新たに獲得させる 「シェイピング」**
 - ・ これまで持っていなかった行動を出現させ強化する
- ③ **獲得した行動を維持させる 「強化スケジュール」**
 - ・ 一度獲得した行動が弱化・消去されないよう維持する
- ④ **獲得した行動を般化させる 「分化強化」**
 - ・ ある限定場面だけで行動が起きるのではなく、他の別の場面でも行動が起きるようにする
- ⑤ **獲得した行動の自立度を高める 「フェイディング」**
 - ・ 他者の依存ではなく自分の力で行動する部分を増やす

【活動企画書をつくろう！】

【 5 支援の具体的留意点を考える】

Pont 1 起こり得ることを想定しておき、

ことが起きたとき、即座に対応する

Pont 2 子どもたちの自主的な行いを妨げない

Pont 3 準備してきたこと、練習してきたことが

成功するようお膳立てをしておく

Pont 4 スタッフの役割分担を明確にしておく

【活動企画書をつくらう！】

【 6 下見及びスタッフ予備体験（シュミレーション）をする】

- 留意点 1 利用場所の関係者に面会し、
目的・内容・方法について説明し理解を得る
- 留意点 2 利用場所のきまり・ルールを確認する
- 留意点 3 危険箇所、安全配慮必要箇所のチェックをする
- 留意点 3 トイレ、食事、緊急時のポイントの確認
- 留意点 4 何を体験させて何を体験させないかを定める
- 留意点 5 移動手段や見学・体験にかかる時間・費用の把握

【活動企画書をつくらう！】

【 7 活動計画を練り直す】

- ・ 事前下見や事前体験で得られた情報を加味して
計画を見直す

【 ※ 上司に企画提案する】

- ◎ 目的を明確にして説明する
- ◎ 安全面、緊急時の対策に注力することを説明する
- 小出しに情報を発信し、了承を得る根回しをしておく
- どの段階でアプローチするのか戦略的に

【活動企画書をつくらう！】

活動企画書づくりのポイント

- なぜ、その企画（＝療育活動）をするのですか？
 - 目的の明確化
 - ・子どもたちの実態
 - ・目指す姿
- どんな活動を計画するのですか？
 - 活動のもつ意味
 - ・体験的活動
 - ・ソーシャルスキルトレーニング
- 活動をどのように展開するのですか？
 - 子どもたちの動機付け
 - ・内発的動機付け
 - ・外発的動機付け
 - ・社会的動機付け
- どのように計画・準備するのですか？
 - 実施までの段取り等
 - ・企画の承認（いつまで？）
 - ・借用や購入予算、制作等の計画
 - 過去の資料の参考
 - ・活動後の資料整理の工夫と徹底
- どのように支援するのですか？
 - 一人ひとりの子どものアセスメントと個別支援計画から
- 6 シミュレーションをやってみましょう！

活動計画書

【活動名】
【ねらい】

【準備物】借用・購入、予算等

【活動の展開】

	活動及び指導の内容・時間配分等	支援の留意点
事前		
事中		
事後		

【活動企画書をつくらう！】

体験活動の「それダメ×」「それマル○」

「それダメ×」 活動のみのやりっぱなし！

「それマル○」

【箱入り娘お嬢型】

失敗体験をしないよう、
体験が成功するよう
事前のお膳立てを徹底する

【野生児リベンジ型】

まずはどっぷり体験したあと、
リベンジの機会を設定し、
最後には体験が成功するよう
しっかり導いていく

【活動企画書をつくろう！】

「本格工作にチャレンジしよう」

【室内体験型】

事前

- ・ 100円均一の工作セットで貯金箱を作る
- ・ 途中であきらめずに最後まで作り上げる
- ・ 自分が作った作品を大切に扱う

事中

- ・ 前年度の優秀作品と賞について説明を聞く
- ・ どんなものをどんな材料で作るか計画を立てる
- ・ 必要な材料を買い物に行く
- ・ マイ貯金箱を制作する

事後

- ・ みんなが作った作品の鑑賞会をする
(相互投票して事業所内表彰をする)
(互いのいいところをほめ合おう)

【活動企画書をつくらう！】

「火起こししてカレーを作ろう」

【野外体験型】

事前

- ・ 火の起こし方を練習する
- ・ 危険認識を学習する
- ・ 一定時間、しっかり説明を聞く練習をする

事中

- ・ カレーの作り方を調べる
- ・ 必要な材料を買い物に行く
- ・ 火起こし体験を経験する
- ・ みんなと協力してカレーを作る

事後

- ・ 指導してくれたおじさんにお礼の手紙を書く
- ・ おうちの人と一緒にカレー作りをする

【活動企画書をつくらう！】

「鳥獣センターへ行こう」

【目的地見学型】

事前

- 集合の仕方を練習する
- 公共の施設におけるマナーを学習する
- 小グループで行動するためのルールをつくる

事中

- 鳥獣センターにいる動物探しオリエンテーリング
- 好きな乗り物を選んで乗る

事後

- 撮影してきた写真をスライドで振り返る
- 好きな動物の絵を描く
- 事業所壁面飾りとして掲示

【活動企画書をつくろう！】

「地域の祭りに参加しよう」

【地域交流型】

事前

- ・ 町の資料館を見学し、地域の歴史を学習する
- ・ 一定時間、しっかり説明を聞く練習をする
- ・ 地域の祭りの神輿担ぎの様子をVTRで視聴する

事中

- ・ 町の歴史や地域の祭りについて、話を聞く
- ・ プレ神輿担ぎに参加する
- ・ 祭りの衣装を着て神輿担ぎ本番に参加する

事後

- ・ 家族と一緒に町の夜祭に参加する
- ・ (以後継続的に) 地域の清掃活動にボランティア参加する

【活動企画書をつくろう！】

年間の構想・月ごとの構想・週ごとの構想

年間

【春】 『自己紹介をしよう』

「自分を知ろう」

【夏】 『夏祭りをしよう』

「友だちを知ろう」

【秋】 『秋を食べよう』

「友だちと協力しよう」

【冬】 『ボランティア訪問しよう』

「成長を振り返ろう」

月

今月のテーマ：「ともだちのいいところ探し」

・ みつけたらカードに書いて壁に掲示しよう

週

今週の目標：「おもちゃの片付けがんばり週間」

・ おもちゃ片付け名人の帰りの会発表

他事業所の演習例



ホップステップ (川崎市)

4月 ウェルカム/パーティー (社会)生: 自己理解 (他者理解)

①生活

②心理
③社会性

自由時間にアセスメント

運動 学習 読み聞かせ

ホップの1
「慣れる=20」
まず重要なのは
運動時間
特に作り

短い時間
でも
学習室に
行ける事
ように
なること

・排せ補助力 (生活)
・1対1での読み聞かせ (不安緊張)

5月

・フラスカハウ春 (SST・季節感)

特性
生活
社会性

6月

・避難訓練

運動
特性

7月

・映画上映 (鑑賞能力、語彙力、視覚性)

認知
心理

8月

・水遊び (感覚統合) (体力)
(日常生活学習) (継続)

運動
生活

9月

心理
社会性
不慣れ言語的

個別

10月

~集団~

心理
認知

11月

・フラスカハウ (体)
・落ち葉遊び (感覚統合) (季節感)

12月

・クリスマス正月に関連したイベント工作

1月

認知
心理
生活

2月

・避難訓練
・フラスカハウ (体)

3月

心理
認知
生活

運動 学習 読み聞かせ

~個別~

・休 (役割責任 調整)

児童の個別面談 (11~3月)

年度末・正月
関係の

「おめでとう」
「甲斐」

◎地域交流

うみのいえ (福津市)

